



「作って楽しむパソコン講座」のお知らせ

障がい者の方のためのパソコン講座が下記の日程で始まります。2コース用意しました。コース1は自分だけの手作り時計、コース2は、恒例の年賀状です。

定員は各コース5名程度で、開催場所はいずれも松阪市障害者福祉センターです。会員の皆様には、講師のご協力よろしくお願いします。

コース1：10月3日、17日、24日「手作り時計」

テキスト代・材料費など500円程度

コース2：11月7日、14日、21日「年賀状作り」

テキスト代など400円程度



「視察研修旅行」のお知らせ

松阪市ボランティア連絡協議会の主催により、下記のように視察研修旅行を実施しますので、参加希望者を募集します。

日時 平成28年11月28日（月曜日）

鈴の森公園 08時00分出発、17時00分帰着

目的地 熊野市津波避難タワー見学、ミカン狩りほか

参加費 2,500円

（一人当たり、昼食とミカン狩りの実費で、バス代は無料です）

申込みは、平成28年9月30日（金）までに、（電話）0598-26-6333（山田則男）までお願いします。



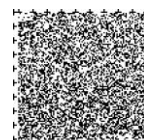
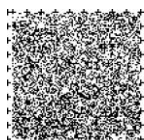
ひょっとしたら軽度の・・・

前回四五百の森に、10年後の2025年には、65歳以上の5人に1人が認知症になるとの推計が政府から発表されましたと書きましたが、最近身の回りで認知症や軽度認知障害とかの言葉を見聞きする事が多くなりました。本人は全く気付かず日常生活を送っているのですが、加齢と共に認知症は誰にでもかかる病気なのです。早期発見(気付く)早期予防に取り組む事が大事です。「まさか自分が・・・」と信じたくないのですが、症状を隠さず、家族と一緒に予防に取り組みしましょう。楽しみながら、認知症の発症と進行を予防するには、

- ① おしゃべりの輪を広げよう
 - ② 運動を習慣化しよう
 - ③ 手先を使って創作しよう
 - ④ バランスよく栄養をとろう
 - ⑤ 頭の体操をしよう
 - ⑥ 園芸で五感を刺激しよう
 - ⑦ 旅行に出かけよう
 - ⑧ 新しいことにチャレンジしよう
 - ⑨ 車の運転を楽しもう
- まさか・・・ひょっとしたら・・・ 信じたくないければ、すぐ挑戦だ！ I・S



今月号は文字数が多いので、第1ページ、第3ページ、第4ページにSPコードを2個付けてあります。第1ページ、第3ページ、第4ページでは、先に左下のSPコードを、次に右下のSPコードを読んでください。



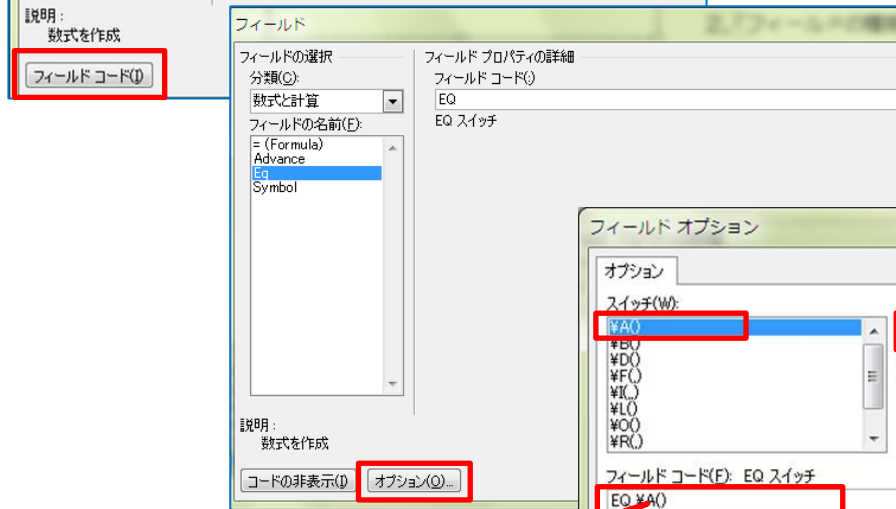
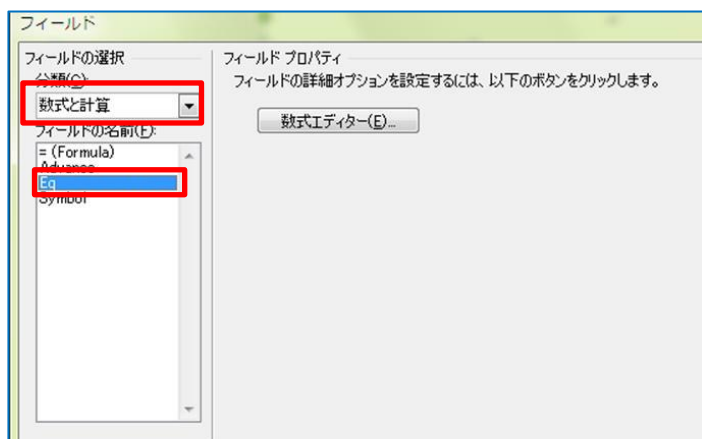
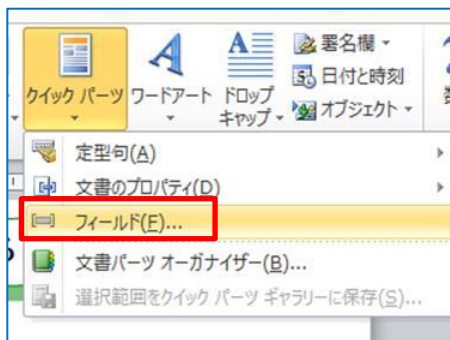
Word 行と行の間に2行にまたがった文字を入力する



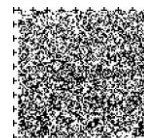
フィールドコードを使って、行と行の間に文字を入力する方法を紹介する。

定期総会に 出席 欠席 いたします

1. 「挿入」メニューから「フィールド」を選択する。
2. 「フィールドの種類」の「数式と計算」を、「フィールドの名前」の「Eq」を選択して、「フィールドコード」ボタンをクリックする。
3. 「オプションボタン」が表示されるのでクリックする。
4. 「フィールドオプション」ダイアログボックスで「スイッチ」の「¥A ()」を選択して「フィールドに追加」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする。
5. 「フィールドコード」に表示されているカッコの中に2行にわたって表示したい文字列を半角カンマで区切って入力し「OK」ボタンをクリックする
6. 文字列が2行にわたって表示されるので、その後ろに続けて文字列を入力する。



EQ ¥(出席,欠席)





活動報告

【8月】

障がい者対象個人向けパソコン講座

(2日、9日、23日)

ITサポート訪問

(4日、8日、22日)



活動予定

【9月】

障がい者対象個人向けパソコン講座

6日、13日、20日、27日

松阪市障がい者福祉センター 9:30~11:30

徒然なるままに



(九) 牛頭天王 (スサノウの尊) について (続)

神道では、いざなぎの尊の禊祓 (みそぎはらえ) になる、六月三十日に夏越の祓 (なごしのはらえ) と大晦日に年越しの祓 (としこしのはらえ) その年の厄を祓い新しい年を迎えあるのであるが。夏越の祓は、半年の厄を落とし夏を乗り切るとするもので、これに蘇民将来の家の者に茅の輪を腰につけて災難を逃れさせたと伝わる古事より夏越の祓に茅の輪をくぐり厄除けをする様になつた

松阪でも、御厨神社、松阪神社で夏祭りとして、さらに八雲神社でも行われる。境内にこしらえた大きな茅の輪は (水無月の夏越の祓をする人は千歳の命延 (いのち、のぶ) ぶなり) と唱えて、左、右、左と三度くぐり厄除けをする。これは、神主がお祓いのとき幣を振るのと同じである。

また人形 (ひとがた) の、人の形を模した紙の形代 (かたしろ) に年齢、男女の区別などを書き、それで体を撫 (な) でて形代に厄や穢れをおつし身代わりとして神社に納め水に流したり、篝火で焼却して厄を落とす神事が行われる

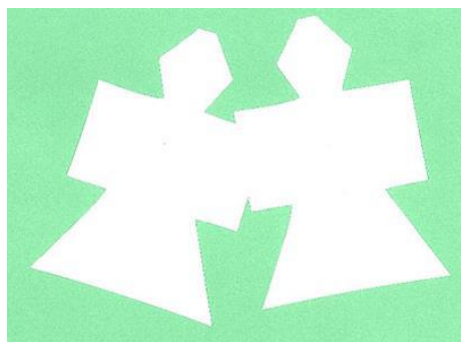
祇園=牛頭天王=スサノウの尊=武塔神=疫病神=祇園社=スサノウの尊

=本地佛薬師如来=祇園の神=スサノウの尊=防疫神=植林の神

スサノウの尊=古事記では、建速須佐之男命 (たけはやすさのおのみこと)

=日本書紀では、素戔嗚尊 (すさのうのみ++され、子の五十猛命と共に新羅に下り、泥舟によって日本の渡り持ってきた樹種を紀州に蒔いたとされる。

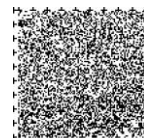
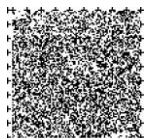
次号に続く



人型を模した形代



牛頭天皇





楽しみがまた 1 つ

T・K

子育てが落ち着き、仕事を辞め、孫の世話も終わり、駆け足で通り過ぎたような毎日でした。「ふうっ～」と立ち止まってからは、幸いにも色々な楽しみと出会えました。パソコン・踊り・友人たちとの楽しい時間、幸せな毎日です。

そしてまた 1 つ。

孫娘がいる北海道に遊びに行くこと！

嫁に行った娘は核家族で、子育てをしながら仕事をしていましたので、孫はそう、やはり私のもとへと長期休みの度に預けられました。

同居している長女の娘と同年という事もあり、安易に引き受けておりました。(今思うと、「ようやくたわ」と笑えてきます。)

少々内気で甘えん坊のこの孫は、散歩につれていっては疲れたとメソメソし、「もう少し頑張れ」というと、「うん」と情けない顔をして頑張っ歩いていました。そんな孫娘も今では大学 4 年生。入学したころは

1人で北海道に行って大丈夫かな
家事なんて何にも出来ないし、大丈夫かな
勉強がてだったから大丈夫かな
とキリがないほど、心配は尽きませんでした。

それがそれが、強くなって、小さい頃が嘘のように頑張っています。我が家では何かにつけて、「あの子がまあ・・・」と驚きがいっぱいでした。

その孫娘に会いに行くことが、今の私の楽しみの一つになりました。ワクワクです。(場所も北海道・帯広という事もあります)

今年は 7 月に行ってきました。1 人では不安なので娘と一緒にです。

楽しかった時間を思いだしながら、まだまだ貪欲に次の楽しみを探していきたいな♪



編集後記



9 月は防災月間です。地震を『モシモ』のものではなく、『イツモ』起こり得るものとしてとらえていこうという考え方があるようです。災害が起きてから備えをしてもどうにもなりません。そこで平時からの準備と心構えをし、防災を日常に取り込んでいきたいと思いますという考えです。

9 月はまだまだ残暑が厳しく、皆さん体調をくずさないように、くれぐれも注意してくださいね。



CTF 通信第 162 号

2016 年(平成 28 年)9 月発行
発行者 IT を活用した障がい者支援 NPO 法人

CTF 松阪

発行責任者 山 田 則 男

住 所 〒515-0081

松阪市本町 2181-1

電 話 0598-21-7268

U R L <http://ctf.dip.jp/>

